【概要版】

墨田区障害福祉計画【第6期】・墨田区障害児福祉計画【第2期】

計画の期間・位置づけ

計画の期間	障害福祉計画【第6期】：令和3年度から令和5年度までの3年間 障害児福祉計画【第2期】：令和3年度から令和5年度までの3年間
計画の位置づけ	両計画は、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害者児の地域生活を支援するためのサービス基盤整備等に係る計画最終年度末の数値目標や、各種障害福祉サービス等の見込み量を設定するとともに、各サービスを提供するための体制の確保を図る計画であり、地域福祉計画及び障害者行動計画の内容を踏まえ、その内容を定めている。

令和4年度

1 事業実績

令和4年度事業実績について、主なものは以下のとおりである。

(1) 相談支援体制の充実・強化等

相談支援事業所連絡会や相談支援専門員向けの事例検討会等を通じて体制の強化を図った。また、令和5年度末に予定している障害者基幹相談支援センターの設置に向けた検討会を実施した。

(2) 障害児支援の提供体制の整備等

令和元年度に設置した「墨田区医療的ケア児に関する協議会」を引き続き実施し、関係機関との連携を図った。また、ライフステージに応じて医療的ケア児へ適切な支援や情報を提供できるよう、パンフレットを作成し、区のホームページへ掲載した。

2 事業評価

事業数及び評価

評価	A	B	その他
計画書掲載 事業数 56事業	53事業	2事業	1事業

A：計画どおり進んでいる場合

B：計画に遅れが生じている場合

その他：計画の見直し等の必要が生じている場合等

評価「B」事業一覧（1：基本指針に定める成果目標、2：指定障害福祉サービス等 3：地域生活支援事業）

区分	事業番号	事業名	説明
2	第2-5	就労移行支援（養成施設を含む）	昨年度の実績を下回ったため。
2	第2-7	就労継続支援B型	必要サービス量は適正に確保されているが、工賃額が目標水準に達しなかったため。

評価「その他」事業一覧（1：基本指針に定める成果目標、2：指定障害福祉サービス等 3：地域生活支援事業）

区分	事業番号	事業名	説明
2	第2-3	自立訓練（機能訓練）	利用者が少なく、見込み値を見直す必要があるため。

3 目標と実績についての分析

本計画における各事業において、概ね計画通り実施されている。

基本指針に定める成果目標のうち、「福祉施設利用者からの一般就労移行者数」及び、「就労移行支援事業利用者からの一般就労への移行実績」については、昨年度同様、目標値を大幅に超えており、今後も継続した支援が求められる。一方、入所施設からの地域生活移行や就労定着支援は目標値に達しておらず、今後も取組みが求められる。

指定障害福祉サービス等の利用実績の中では、特に「共同生活援助(グループホーム)」「児童発達支援」「放課後等デイサービス」は増加傾向が続いている。利用ニーズは今後とも確認していく必要がある。

地域生活支援事業では、令和3年度では応募者の開催最小人数に満たず未実施となった手話奉仕員養成研修事業において、受講者が5人となり、実施できた。また、試験運営の人材不足や試験問題作成の困難さから脱却し、手話通訳レベルを全国水準に合わせるため、区独自の手話通訳者選考試験から全国統一試験へ移行した。

令和5年度

1 事業計画

令和5年度事業計画について、主なものは以下のとおりである。

(1) 相談支援体制の充実・強化等

令和5年度末の基幹相談支援センターの開設準備を行う。

(2) 障害児支援の提供体制の整備等

保健、医療、障害福祉、保育、教育に係る庁内関係部署と外部委員からなる「医療的ケア児に関する協議会」を継続して開催する。

2 事業計画に対する考え方

(1) 相談支援体制の充実・強化等

基幹相談支援センターを設置し、身体障害、知的障害、精神障害に係る専門相談を行うほか、区内相談支援事業者の体制強化を図る等、地域における相談支援の中核的な役割を担っていく。

(2) 障害児支援の提供体制の整備等

医療的ケア児に対する共通の理解に基づく支援の充実に努めるとともに、医療的ケア児に関するコーディネーターとの連携を図っていく。